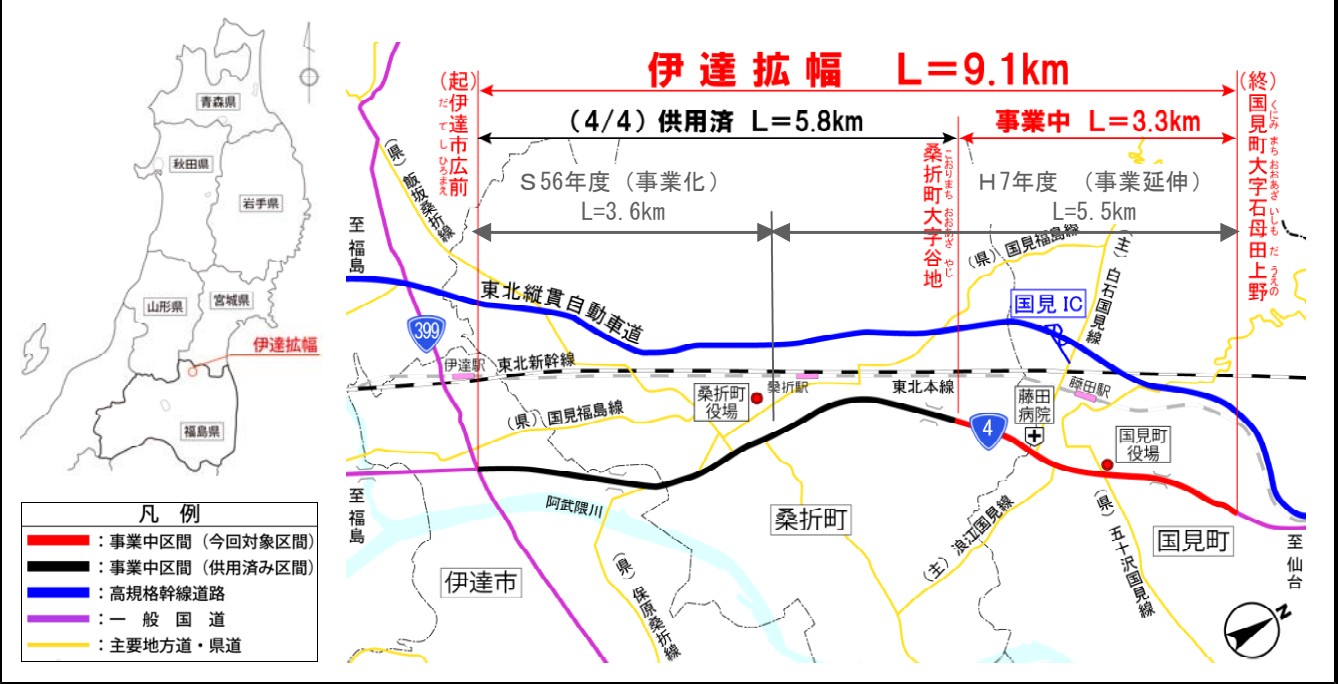


再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道4号 伊達拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県伊達市広前 至：福島県伊達郡国見町大字石母田字上野			延長	9.1 km
事業概要					
<p>一般国道4号は、東京都を起点とし、郡山市、福島市、仙台市を経て、青森市に至る東北地方の産業・経済・文化の交流・連携を支える主要幹線道路である。伊達拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、悪天候時における現道の安定的な通行の確保を目的としている。</p>					
S56年度事業化		S56年度都市計画決定		S57年度用地着手	
S61年度工事着手		S56年度都市計画決定		S57年度用地着手	
全体事業費	198億円	事業進捗率	74%	供用済延長	5.8 km
計画交通量	22,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9	総費用	(残事業)/事業全体 57億円/320億円	総便益	(残事業)/事業全体 120億円/600億円
	(残事業) 2.1	事業費 44億円/286億円	維持管理費 12億円/34億円	走行時間短縮便益 113億円/576億円	走行経費減少便益 6.7億円/19億円
				交通事故減少便益 0.74億円/4.8億円	基準年 平成24年
感度分析の結果					
<p>残事業について感度分析を実施 【全体事業】交通量変動：B/C=1.8~2.0(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.8~1.9(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.8~1.9(事業期間 ±1年) 【残事業】B/C=1.9~2.4(交通量 ±10%) B/C=2.0~2.3(事業費 ±10%) B/C=2.0~2.2(事業期間 ±1年)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保 (現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される) ・災害への備え (対象区間が都道府県地域防災計画に位置づけがある) <p style="text-align: right;">他14項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○福島県知事の意見 事業継続については、異議ありません。なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期の事業効果の発現を図るとともに、更なるコスト削減など、総事業費の抑制に努めてください。</p> <p>○以下の団体から、伊達拡幅の整備促進について要望あり ・福島県知事、福島県伊達地方町村議会議長会(川俣町、桑折町、国見町)</p>					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
事業進捗率74%(うち用地進捗率78%)					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
事業進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等					
他事業との発生土利用調整及び再生資材(再生砕石、再生アスファルト合材等)の活用により、コスト削減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。